

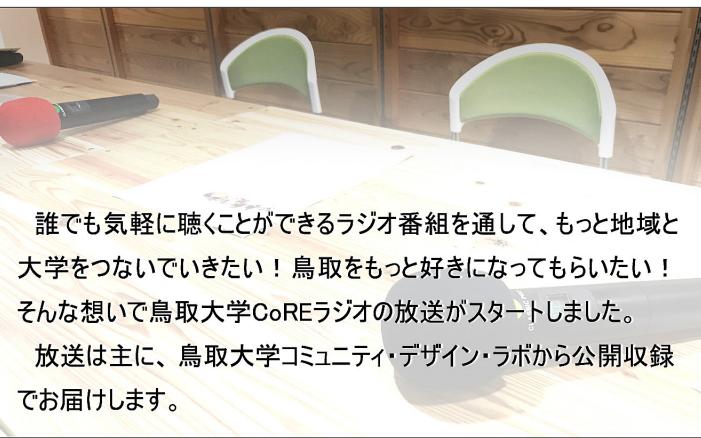
# 4 CoRE & CDL TIMES

発行日：2018年12月1日（季報）

2018  
9.27～

地域と大学をつなぐ、鳥取をもっと好きになるラジオ。

## 鳥取大学CoREラジオ公開収録



誰でも気軽に聴くことができるラジオ番組を通して、もっと地域と大学をつないでいきたい！鳥取をもっと好きになってもらいたい！そんな想いで鳥取大学CoREラジオの放送がスタートしました。

放送は主に、鳥取大学コミュニティ・デザイン・ラボから公開収録でお届けします。

9/27 ゲスト: 東根ちよ先生

第1回目のゲストは鳥取大学地域学部地域学科地域創造コースの東根ちよ先生。森のようちえんの活動の展開を可視化する研究をはじめ、スキルを生かしたボランティア「とっとりプロボノプロジェクト」など、地域と連携した教育・人材育成のお話を関係者のインタビューも交えながら行いました。



ON AIR 10月7日・10月14日（再放送）

10/12 ゲスト: 岡村知子先生

2回目のゲストは、鳥取大学地域学部 地域学科国際地域文化コースの岡村知子准教授。戦後NHK鳥取で放送されていたラジオドラマを通して、当時の時代背景や鳥取の暮らし・文化を研究する地域調査プロジェクトについて、学生たち、当時の関係者のインタビューを交えてご紹介いただきました。



ON AIR 10月21日・10月28日（再放送）

10/25 ゲスト: 三浦政司先生

3回目のゲストは、工学研究科 機械宇宙工学専攻・工学部ものづくり教育実践センターの三浦政司助教。家族と一緒にしている蟻コロニーの創設や飼育のお話から、ロケット研究のお話、学生とのプロジェクトで、IoTやゲームシステムを用いた地元企業とのものづくりについてなど、幅広くお話をいただきました。



ON AIR 11月4日・11月11日（再放送）

11/12 ゲスト: 木野彩子先生

4回目のゲストは、地域学部国際地域文化コース/地域学部附属芸術文化センターの木野彩子先生。専門であるダンスを始めたきっかけや芸術文化センターについてのお話、来年開催される鳥取県総合芸術文化祭 とりアートのメイン事業「鳥取銀河鉄道祭」のお話などを中心に盛りだくさんで語っていただきました。



ON AIR 11月18日・11月25日（再放送）

11/19 ゲスト: 伊福伸介先生

5回目のゲストは、鳥取大学大学院工学研究科 化学・生物応用工学専攻の伊福伸介教授。カニ殻から作り出した新素材キチンナノファイバーの様々な活用方法についてお話しいただきました。また、鳥取大学発のベンチャー企業株式会社マリンナノファイバーの話や化粧品への活用についても話していただきました。



ON AIR 12月2日・12月9日（再放送）

収録した内容は毎週日曜日の夕方6時より、FM鳥取(82.5Mhz)で聞くことができます。

今後の ON AIR 予定 12月16日・12月23日（再放送）：井上和興先生（鳥取大学医学部地域医療講座 講師）  
1月6日・1月13日（再放送）：児玉基一朗 教授（鳥取大学大学院連合農学研究科）

RADIO BIRD  
FM TOTTORI 82.5fm

2018  
10.4~  
10.11

アントワン・ディブ スケッチ展

## イタリアンスケッチーズ ザ・ルネサンス

鳥取大学工学部プロジェクト研究員のAntoine Dib（アントワン・ディブ）は、工学と並行して絵画を学び、美術展に参加したり、子供のためのボランティアの絵画教師をするなど、精力的に活動しています。ルネッサンス美術に情熱を持ち、イタリア美術のレバノン絵画への影響を研究した彼のスケッチを鑑賞しようと6日間で延べ300名ちかくの方が来場いたしました。



ルネサンスの繁栄の移り変わりがわかる  
よう時間軸での展示。



留学生をはじめ、多くの  
来場者が感想をノートに  
書いていました。

2018  
10.7

COC+県内企業見学シャトル便

## 学生の地元企業訪問レポートパネル展 パートII



地元企業35社程度のレポートパネルを展示了しました。

COC+事業推進室では、今年も風紋祭に参加し、2017年版と2018年版の主要訪問先の企業訪問レポートのパネル展示をCDLで開催しました。10月6日の初日は、台風の影響で風紋祭は中止となり、2日目の午後半日のみの開催となりましたが、上記の「ザ・ルネサンス」とのコラボ開催やドリンクの無料提供の協力もあり、延べ約350名の来訪者にパネルを見ていただきました。



マルサンアイ鳥取株式会社の豆乳や大山乳業提供の白バラ牛乳、白バラコーヒーなど自由に飲めるコーナーもあり賑わっていました。

2018  
11.16  
11.28

起業とプロトタイピング

## ICEEスペシャルレクチャー（起業家編）

ものづくり教育実践センターが実施する全学共通科目「起業とプロトタイピング」では、企業・経営・製品開発などの分野で活躍している方を講師としてお招きし、経験談やメッセージをお聞きする機会を設けています。受講生や聴講者と講師が対話できるような規模で実施しており、両日とも多くの学生、教職員、一般の方が参加されました。

1

11月16日(金)16:30~

講師 美崎栄一郎 氏

商品開発コンサルタント、ビジネス書作家、講演家として著名な美崎栄一郎氏をお招きし、商品開発やモノづくりに大事な視点について豊富な意見もふまえてお話をいただきました。



2

11月28日(水)18:30~

講師 山舗智也 氏

シリアルアントレプレナー（連続起業家）として数多くの起業・事業を手掛けている山舗智也氏をお招きし、起業やビジネスにおけるエピソードやメッセージを頂きました。



2018  
11.4

風景 / 映画再考Vol.5

## 相原信洋 — 風景論としてのアニメーション

地域学部附属芸術文化センターの佐々木友輔先生が企画する風景／映画再考の第5弾。今回は、日本を代表する個人アニメーション作家・相原信洋（1944-2011）の上映会＆講座が行われました。映画研究者の阪本裕文を講師として迎え、代表作の上映を軸に相原氏のフィルモグラフィーをたどるとともに、NPO法人戦後映像芸術アーカイブによる、相原作品のデジタル復元やアーカイブ化への取り組みについて紹介していただきました。また、今年3月に発見された幻の初期作品「風景の死滅」（1971年）の上映を軸に、アニメーション制作を通じて政治や社会の問題に切り込むドキュメンタリー作家・風景論映画作家としての相原氏の側面を解説していただきました。アニメーションや映像表現に興味のある学生やOB・OGなど40名近くが参加しました。



2018  
10.16～  
2019  
1.6

地域を知り、地域で実践する

## アートマネジメント講座2018 講座編

鳥取大学地域学部附属芸術文化センターが主催するアートマネジメントの連続講座がコミュニティ・デザイン・ラボで開催中です。地域における芸術の在り方を第一線で取り組まれている各界・各分野の研究者・実践者を講師に招き、共に考えるとともに、実際の事業の企画運営に携わることで実践力を身につけるプログラムです。個別での受講も可能で、すでに多くの方にご参加いただいています。

※実践編につきましては鳥取市内各所で行われています。詳しくはホームページでご覧ください。



### 講座編

2018年10月17日（水）

文化政策・アートマネジメントの現状と課題  
講師：大澤寅雄（株）ニッセイ基礎研究所主任研究員

劇場コンサルタントやアートNPOの運営などの豊富な経験を基礎に政府（文化庁）などの調査研究に数多く携わり、現在も福岡県糸島市でアートの現場に身を置きながら文化政策の在り方を発信。その幅広い視野からアートマネジメントの現状と課題を語っていただきました。

2018年11月14日（水）

住民主役・行政支援のアートマネジメント  
講師：中本正樹（小美玉市企画財政部企画調整課シティプロモーション係 係長）

小美玉市四季文化館「みの～れ」で開館準備段階から徹底した参画による事業企画運営を推進。町村合併後、旧隣町の文化ホール改革に着手し、14.7%の大ホール稼働率を70%台に改善。今回その実績をもとに、住民主役・行政支援の文化施設運営の意義についてお話をいただきました。

2018年12月12日（水）

社会を変える非営利活動のマネジメント  
講師：徳田雄人（（一社）認知症フレンドリージャパン・イニシアチブ 共同代表者）

テレビ局ディレクターとしての経験をもとに、認知症をめぐる社会の課題を伝える側から自ら解決に向けてコミットする側に転身。医療福祉の専門職だけでなく地域の多様なセクターを巻き込みながら社会を変えていく、その思想や手法について伺います。

2019年1月16日（水）

地域でつくる・考えるアートマネジメント  
講師：大澤苑美（八戸市まちづくり文化スポーツ部 まちづくり文化推進室種事件学芸員）

現代アートやコンテンツポラリーダンスの事業コーディネートの経験を携え、芸術文化によるまちづくりを始めつつあった青森県八戸市へ2011年4月に移住。地域の資源や人を巻き込んで行うアートプロジェクトの実践を続ける意義と現場での苦労などを語っていただきます。

**「健康・医療～人生100年の時代、知っておきたい保健・医療のこと～」**

会場：鳥取大学広報センター

時間：10:30～12:00

※駐車場をご利用の方には、駐車サービス券をお渡しいたします。  
会場受付にてお声掛けください。2018  
11/10**「若者の性の健康を守ろう！～未来に向けての取り組みの実際～」**  
医学部保健学科母性・小児家族看護学講座 助教 大島 麻美

鳥取県は「子育て王国」といを掲げ、子育てしやすい環境づくりに取り組んでいます。一方、出生数減少による少子化の問題や若い世代の人工妊娠中絶の問題などがあります。

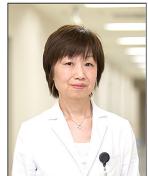
鳥取県の妊娠・出産に関する統計データを紹介し、鳥取県内の若者世代への性教育の取り組みや妊娠・出産・子育て支援についてご紹介いたしました。

2018  
12/22**「ここまで治る！がんの放射線治療」**

医学部附属病院放射線治療科 教授 内田 信恵

日本人の2人に1人が、がんにかかる時代です。がんは日本人の死亡原因の1位ですが、治療方法の進歩により、近年成績が改善しています。

放射線治療は、病巣を手術切除せずにがんを治す、低侵襲な治療です。治療はベッドの上に寝ているだけ、痛くも熱くもありません。放射線治療の方法や効果についてわかりやすく解説します。

2018  
11/24**「病いを持つ人々の自己管理と生活を支える看護を探求する  
一人々の認知にはたらきかけ、行動の変化をうながす健康教室—」**  
医学部保健学科成人・老人看護学講座 准教授 谷村 千華

看護の対象は「人」、目的は「健康的な生活を整える」ことです。糖尿病や関節症などの病いは治療も経過も長いため、自己管理が必要ですが、社会生活を送る人々にとって、その獲得と継続は容易ではありません。本セミナーでは、人々の注意や意識、思考などの認知を刺激し、自己管理行動を獲得することを目指した国内外の活動について研究成果を交えて紹介いたしました。

2018  
12/8**「更年期世代のセルフケア向上を目指した健康支援  
—一体と心の変化に気づき、リスクに備える—」**  
医学部保健学科母性・小児家族看護学講座 講師 池田 智子

更年期は女性の場合、一般的に45～55歳といわれ、ライフサイクルの中で心身の変調が起こりやすく、健康問題のリスクを抱えやすい時期にあたります。そのため心身の変化の特徴を知ること、備えること、適切に対処することが必要です。これは将来の老年期になりやすい病気を予防することにつながります。本セミナーでは更年期女性のセルフケア向上を目指した健康支援の内容と研究成果を交えて紹介します。

2019  
1/12**「がん看護専門看護師の役割とがん看護の実際」**

医学部附属病院看護部がん看護専門看護師 中村 梨沙

近年、がんの治療法は様々な研究や開発が進められており、がん患者さんやそのご家族が「がんと共に生きる」時代に突入しました。がん看護専門看護師は、がん患者さんとそのご家族の苦痛を理解し、がんを抱えながら自分らしく生きることを支えるという役割を担っています。

講演では、実際に医療現場で日々がん患者さんに提供している看護について紹介します。

**ライブ中継による聴講ができます！**

米子市立図書館・倉吉市立図書館・琴浦町図書館・加藤文太郎記念図書館  
(12/22は南部町立法勝寺図書館でも聴講可能)

**CoREに新しいメンバーが加わりました！**

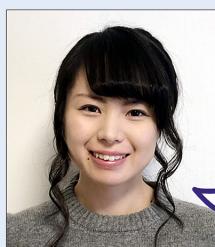
★URA(ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター)として2名の先生が着任しました★



谷口 美也子 先生

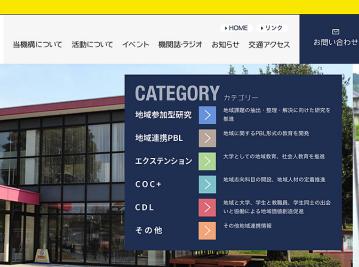
12月1日よりURAとして着任いたしました谷口美也子と申します。「研究が好き」「新しいことを創るのが好き」という思いだけでこれまで大学で仕事をしてきましたが、これまで関わることのなかった新しい分野の研究や活動を垣間見て、すでにわくわくしているところです。鳥取大学の先生方、地域の方々と研究や教育活動の楽しさを共有できるようなURAを目指したいと思っております。

どうぞよろしくお願ひいたします。



堤 晴彩 先生

12月1日に着任致しましたURAの堤晴彩と申します。4月まで本大学の農学研究科に在学し、今年で鳥取歴7年目になりました。鳥取には鳥取ならではと言える自然風土があり、地域に根付いた誇るべき文化や産業があります。一方で、人口希薄化等によりその継続維持が危ぶまれています。「鳥取・山陰だからこそ」を多方面から再発掘し、新たな地域価値の創出のため、本学が有する地域特徴を生かした研究活動基盤における充実・活性化における支援を行えるよう尽力して参ります。また、西日本でありながら雪が降るという鳥取の四季の恩恵を受け、小さい頃から続けているアルペンスキーでも国体鳥取代表として胸を張れるように頑張っていきます。宜しくお願い致します。

**CoREの活動やイベント情報も盛りだくさん！****CoRE 地域価値創造研究教育機構 のHPができました！**<https://www.core.tottori-u.ac.jp>

当サイトより会員登録をされますとCDLの利用について、簡単に申込みが可能となります。是非ご活用ください。

トップページ→「CDL」→「CDL会員のご案内・利用申し込み」

地域価値創造研究教育機構による様々な活動をスマートに、活発に行っていくための拠点です。

地域の住民、学生、教職員など、様々な立場の方が協働を目的に使用することができます。

平日9時30分から18時まで専用予約（貸切）がない場合は、隨時自由に入室し、空いている席で打合せや雑談、休憩等をしていただけます。

コミュニティ・  
デザイン・ラボとは？

**CDL コミュニティ・デザイン・ラボ**

所在地：鳥取市湖山町南4丁目101番地

(鳥取大学正門入ってすぐ 広報センター内)

TEL: 0857-31-5870

Mail: chi-cdl@ml.adm.tottori-u.ac.jp